



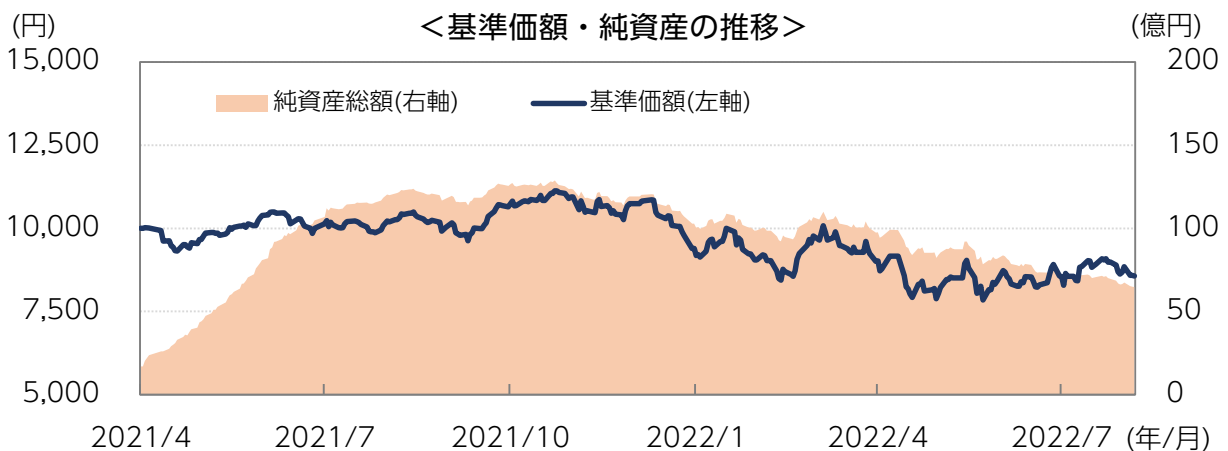
グローバル・ディスラプター成長株ファンド (資産成長型)／(予想分配金提示型)

設定来の運用状況と今後の見通しについて

- 当ファンドの株式運用を手掛けるGAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドより、当運用の責任者を務めるマーク・ホーティン氏による運用状況、見通し等についてのコメントを入手しましたので、ご紹介いたします。

設定来の運用状況(2022年8月31日時点)

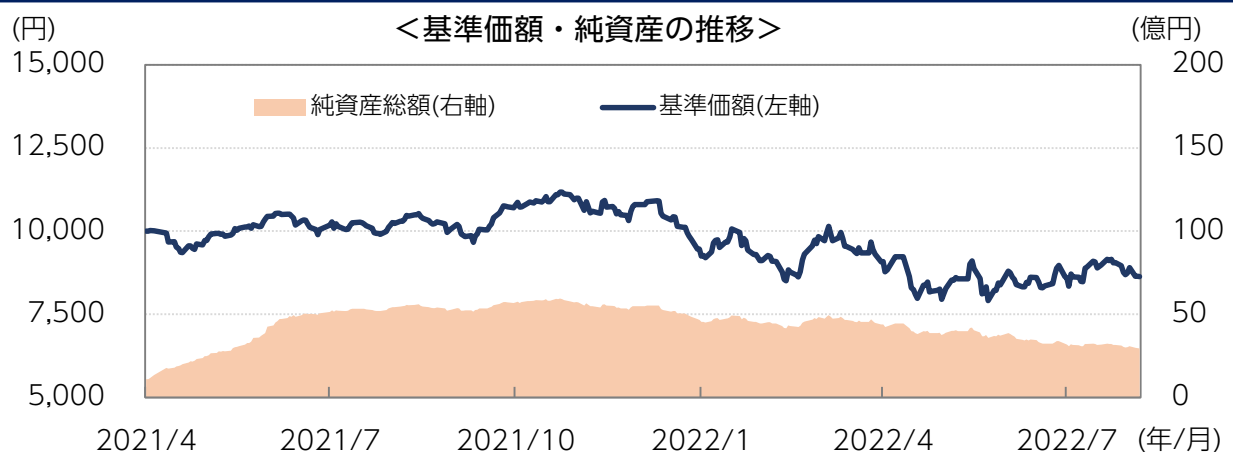
資産成長型



＜分配の推移(1万口当り、税引前)＞

第1期(2022年4月)	0円	設定来累計額	0円
--------------	----	--------	----

予想分配金提示型



＜分配の推移(1万口当り、税引前)＞

第1期(2021年5月) ～第16期(2022年8月)	0円	設定来累計額	0円
--------------------------------	----	--------	----

データ期間：2021年4月26日＜設定日＞～2022年8月31日(日次)

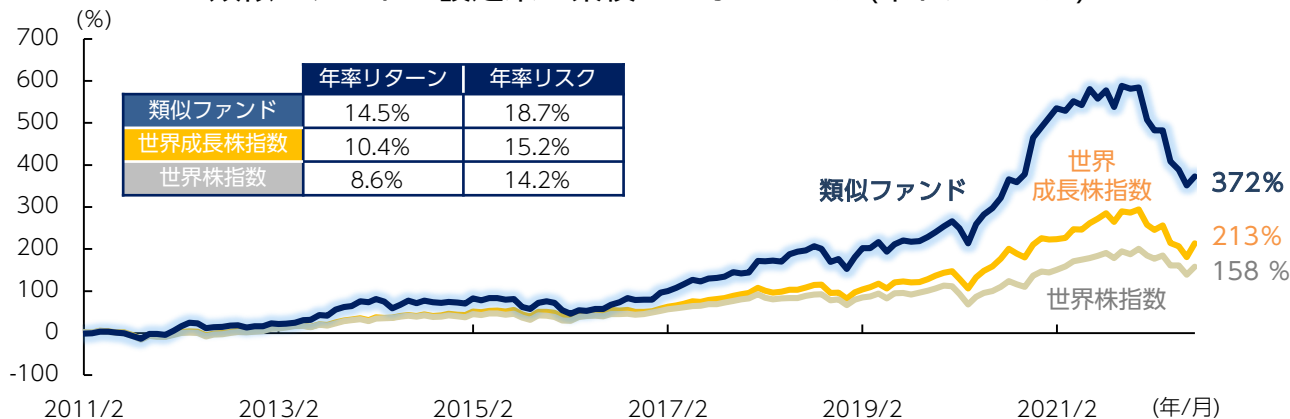
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。基準価額は信託報酬控除後、1万口当りの値です。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金は信託財産から支払いますので、基準価額が下がる要因となります。収益分配金には普通分配金に対して所得税および地方税がかかります(個人受益者の場合)。

●当資料は、GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドの資料をもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
＜2022-SA105＞

長期にわたる良好なパフォーマンス

当ファンドの類似ファンドは、2011年2月の設定以降、株価指数を大きく上回る良好なパフォーマンスを示してきました。

＜類似ファンド 設定来の累積パフォーマンス(米ドルベース)＞



データ期間：2011年2月1日＜設定日＞～2022年7月末(月次)
出所)FactSetのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
世界成長株指数：MSCIワールド・グロース・インデックス(配当込み)、世界株指数：MSCIワールド・インデックス(配当込み)

上記の類似ファンドの運用実績は、当ファンドの主要投資対象である「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」と同じ運用チームが同じチームで運用する「GAMスター・ディスラプティブ・グロース」のパフォーマンス(報酬等コスト控除前)を示したものです。当ファンドや当ファンドの主要投資対象ファンドの運用実績ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。

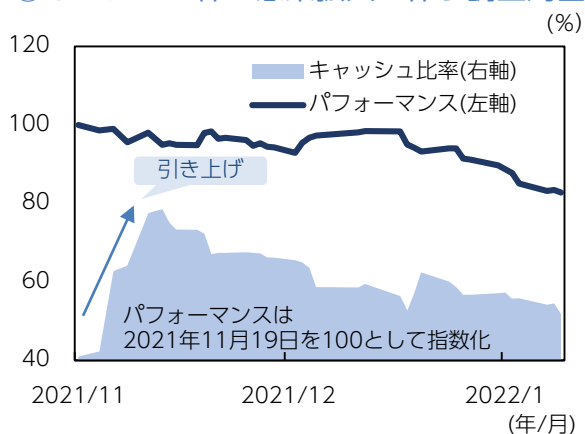
機動的なキャッシュ比率の調整

当ファンドではテクニカル分析を活用し、株式市場の急落が見込まれる場合には機動的にキャッシュ比率を引き上げる(株式比率を引き下げる)など、**短期的な相場変動にも機動的に対応**することをめざします。

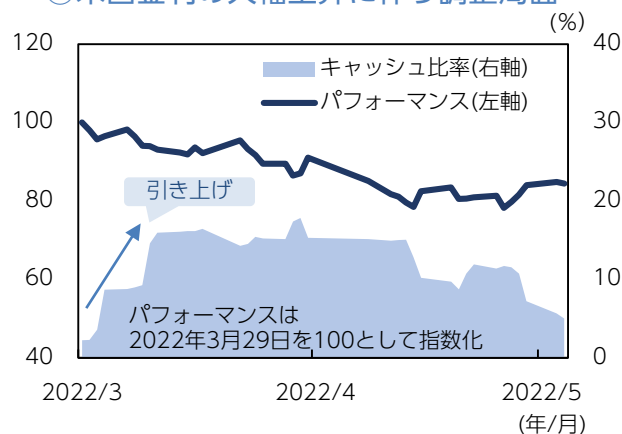
2021年4月の運用開始以降、度重なる株式市場の下落局面においても、機動的にキャッシュ比率を引き上げ、パフォーマンスの向上に努めてきました。

＜投資対象ファンドのパフォーマンスとキャッシュ比率の推移＞

①オミクロン株の感染拡大に伴う調整局面



②米国金利の大幅上昇に伴う調整局面



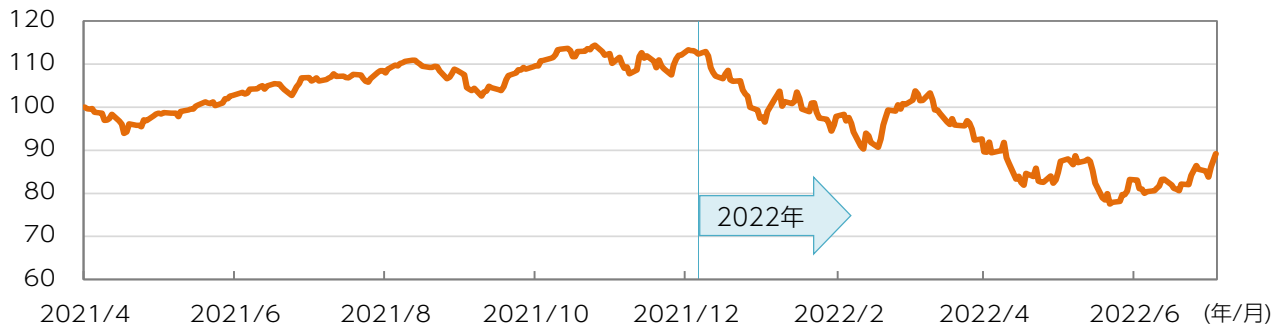
データ期間：①2021年11月19日～2022年1月27日(日次) ②2022年3月29日～2022年6月1日(日次)
出所)GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
上記は当ファンドが主に投資対象とする「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」の運用状況を示したものです。
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当ファンド設定以降の世界成長株の動向について

当ファンドの設定以降、世界の成長株は変動が大きい状況が続いています。2021年は世界成長株は堅調に推移しましたが、2022年に入ると、ロシアによるウクライナ侵攻、世界的な金利上昇、景気減速懸念の台頭などをうけて下落しました。

世界景気に対する不透明感はあるものの、成長株のバリュエーション調整が進んでいることに加えて、インフレがピークアウトするとの観測も出てきており、足もとでは成長株に反転の兆しが見受けられます。

<世界成長株指数の推移(米ドルベース)>



データ期間：2021年4月26日～2022年7月29日(日次)
出所)FactSetのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
世界成長株指数：MSCIワールド・グロース・インデックス(配当込み)、2021年4月26日を100として指数化

世界成長株反転の兆し① 企業業績は堅調を維持

成長株は、不確実性が高まる金利上昇局面の初期においてはパフォーマンスが悪化する傾向があります。しかし、多くの場合、金利の上昇は景気が堅調であることの裏返しと捉えることができます。そのため、金利上昇局面全体を通してみると、成長株は相対的に良好なパフォーマンスを示す傾向にあります。

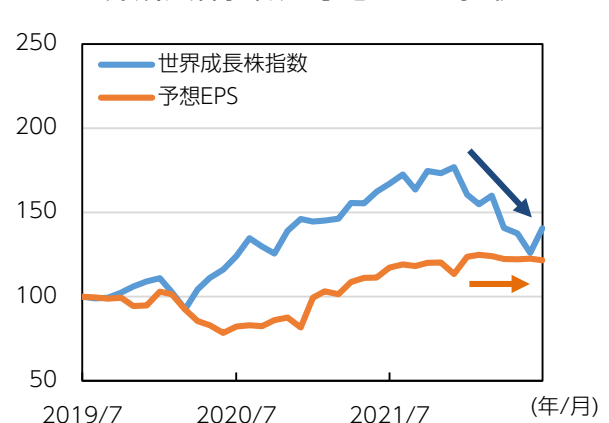
足もとでは金利上昇をうけて世界成長株は下落する一方で、世界成長株の予想EPS(1株当たり純利益)は相対的に高水準を維持しているなど、企業業績は引き続き堅調です。

<世界成長株指数と米国長期金利の推移>



データ期間：2019年7月31日～2022年7月29日(日次)
出所)ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 世界成長株指数：MSCIワールド・グロース・インデックス(配当込み、米ドルベース)、2019年7月31日を100として指数化

<世界成長株指数と予想EPSの推移>



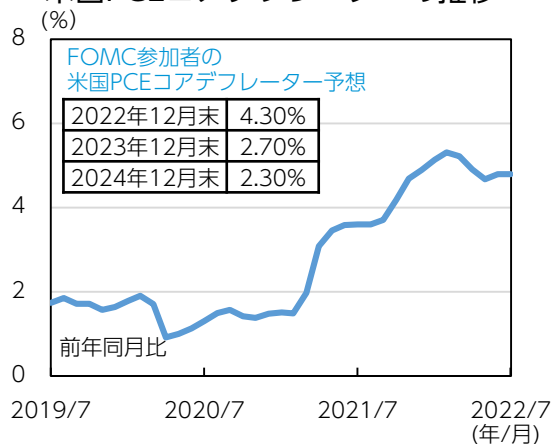
データ期間：2019年7月末～2022年7月末(月次)
出所)ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 世界成長株指数：MSCIワールド・グロース・インデックス(配当込み、米ドルベース)
2019年7月末を100として指数化

世界成長株反転の兆し② インフレはピークアウトとの見方も

FRB(米連邦準備理事会)が重視しているとされる米国PCE(個人消費支出)コアデフレーターは足もとで伸びが鈍化しており、FOMC(米連邦公開市場委員会)参加者は今後とも鈍化が続くと見込んでいます。

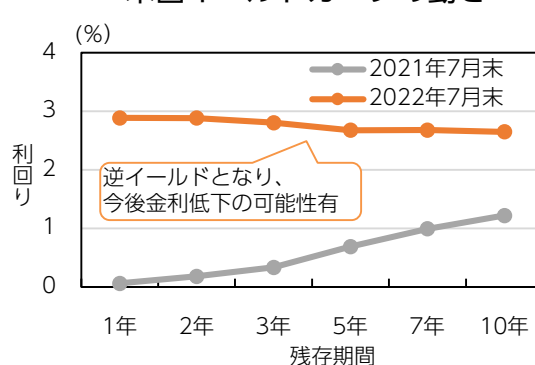
米国金利は1年前と比べ大きくフラットニング(短期金利と長期金利の差が小さくなること)し、逆イールドとなっています。これは、市場参加者が長期的なインフレの落ち着きと将来の利下げの可能性を視野に入れていることの表れと解釈することも可能です。今後は、インフレのピークアウト観測に伴い利上げ観測が後退し、長短金利は落ち着きを取り戻す可能性が高いと考えられます。

<米国PCEコアデフレーターの推移>



データ期間：2019年12月末～2022年7月末(月次)
出所)ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 予想は2022年6月現在

<米国イールドカーブの動き>



【逆イールドとは?】
イールドカーブの形状が通常とは逆になり、短期金利が長期金利の水準を上回る状態を指す。

出所)ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

今後の見通しと運用方針について

今後、将来の金利上昇に対する予想が緩やかになれば、株式市場ではより合理的な価格形成がなされることが期待され、長期的に成長株が優位な環境になっていくと考えています。私たちは株価が底打ちしたと確信しているわけではなく、インフレが予想以上に長引くことで、より積極的な金利上昇サイクルに移行する可能性も考慮しています。しかし、成長株に反転の兆しがみられる現在の相場環境はポジティブであるとみており、今後さらにパフォーマンスが上向いていくものと期待しています。

デジタル化が一層進んだ世界の到来が予想されるなか、より大きな成長が期待できるテーマ及び銘柄に対して、引き続き、魅力的な投資機会があると考えています。ファンダメンタルズ分析に基づき、相対的に割安と判断する銘柄に投資することで、投資収益の最大化が図れるものと考えています。

当ファンドでは引き続き、徹底したファンダメンタルズ分析に基づく銘柄選択により大きな成長が期待できる企業を厳選し、テクニカル分析も活用することで相対的に割安で魅力的とみられる株価水準で投資する運用を行ってまいります。

マーク・ホーティン

運用責任者：Mark Hawtin



組入銘柄における“ディスラプティブ”な技術のご紹介①

理想汽車(リ・オート) (中国) 業種：一般消費財・サービス

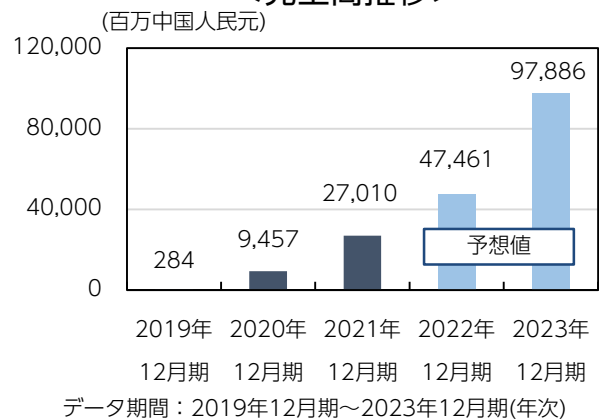
投資対象ファンドの組入比率 1.8% (2022年7月末時点)

2015年に設立した中国のEV(電気自動車)メーカー。同社EVの特徴は「レンジエクステンダー」と呼ばれる発電装置です。エンジンモーターに取り付けるもので、バッテリーの残量が少なくなるとガソリンで発電して走行距離を伸ばす役割を持っています。この装置を採用した同社のEVは通常のEVより長い航続距離を誇ります。

<株価推移>



<売上高推移>



オクタ (米国) 業種：情報技術

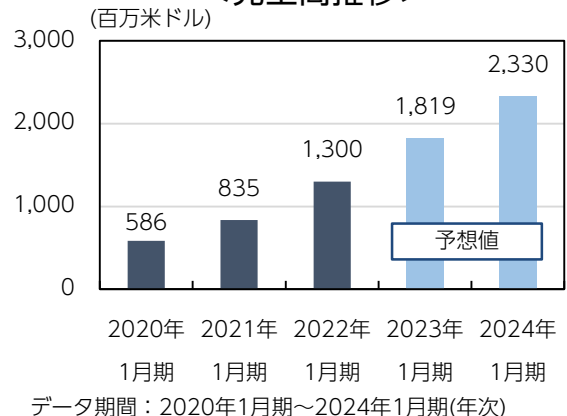
投資対象ファンドの組入比率 1.3% (2022年7月末時点)

2009年に設立したインターネット・アプリケーション・ソフトウェア会社。一つのログイン資格情報(ログインIDとパスワード)だけで、作業に必要なインターネット経由で使用する外部サービスやアプリケーションすべてにアクセスが可能となる「Single Sign-On(シングル・サインオン)サービス」を全世界に向けて展開しています。

<株価推移>



<売上高推移>



出所)各社HP、ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 売上高予想値は2022年9月現在のブルームバーグ集計値 業種はGICS分類(セクター)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。上記は当ファンドが主に投資対象とする「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」の運用状況を示したものです。上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄の保有を保証するものではありません。組入比率は対純資産総額比です。

組入銘柄における“ディスラプティブ”な技術のご紹介②

オックスフォード・ナノポア・テクノロジーズ (英国) 業種：ヘルスケア

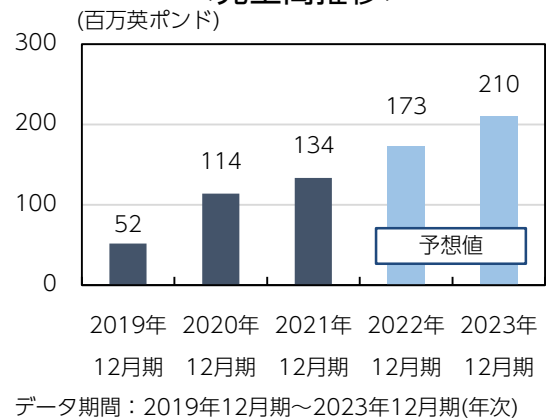
投資対象ファンドの組入比率 1.0% (2022年7月末時点)

DNA解読装置メーカー。同社のDNA解析ツール「VolTRAX」は手のひらサイズで、重さも300グラム程度です。機器をパソコンにつなぐだけで自動的に分析ができるため、病院に赴くことが難しい場合でもDNAデータを医療機関へ連携し、迅速かつ正確な検査が可能となります。

<株価推移>



<売上高推移>



出所)各社HP、ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 売上高予想値は2022年9月現在のブルームバーグ集計値 業種はGICS分類(セクター)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。上記は当ファンドが主に投資対象とする「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」の運用状況を示したものです。上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄の保有を保証するものではありません。組入比率は対純資産総額比です。

ファンドの特色

- ①日本を含む世界の株式のなかから、既存の市場を破壊しうる革新的な技術・ビジネスモデルを有し、株価上昇が期待できる成長企業の株式に厳選して投資します。
- ②決算頻度および配分方針の異なる2つのファンドから選択いただけます。

<資産成長型>年1回決算を行います。信託財産の十分な成長に資することに配慮し、分配を抑制する方針です。

- 毎年4月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。

<予想分配金提示型>毎月決算を行い、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。

- 毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。
- 収益配分方針に基づき、決算日の前営業日の基準価額(1万口当り。支払い済みの分配金累計額は加算しません)に応じて、以下の金額の分配を行うことをめざします。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当り、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- ・ 決算日の前営業日から決算日までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。
- ・ 基準価額の値上がりにより、該当する分配金テーブルが分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える場合等には、テーブル通りの分配ができないことがあります。
- ・ 基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
- ・ 分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
- ・ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。
- 将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。
- ・ 販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド(指定投資信託証券を含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- **ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。**

主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。特に、新興国の経済状況は先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があり、ファンドの資産価値が大きく減少したり、運用方針にそった運用が困難になる可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

- 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 株式市場が大幅に下落する可能性が高いと判断する場合には、主要投資対象とする外国投資信託証券において株式の組入比率を引き下げることがあります。このため、市場が予期しない値動きをした場合等には、この運用が効果的に機能しない可能性があり、その際には基準価額の下落リスクを軽減できないこと、あるいは株式市場の上昇に追従できないこと等があります。
- **ストックコネクト***を通じた取引に関しては、以下の事項にご留意ください。
 ファンドは中国A株への投資に際し、ストックコネクト(上海・香港相互株式取引制度および深セン・香港相互株式取引制度)を通じて行う場合があります。ストックコネクトを通じた投資は、取引や決済に関する特有の制限等で意図した取引等ができない場合、取引等に特有の費用が課される場合、ストックコネクトにおける取引停止や中国本土市場と香港市場の休業日の違いにより、中国本土市場の急変あるいは株価の大幅な変動時に対応できない場合等には、ファンドの資産価値が減少する要因となる場合があります。また、ストックコネクトでは、投資者が不利益を被る大きな制度変更が行われる可能性があります。
 ※ スtockコネクトとは、ファンドを含む外国の投資家が、上海証券取引所および深セン証券取引所の中国A株を香港の証券会社を通じて売買することができる制度です。なお、中国A株とは、主な投資家として中国居住者を想定しているものですが、一定の条件のもとでファンドを含む外国の投資家にも投資が認められています。
- ファンドは、多量の換金の申込みが発生し換金代金を短期間で手当てする必要がある場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等には、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引ができないリスク、取引量が限定されるリスク等が顕在します。これらにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金の申込みの受け付けを中止する、また既に受け付けた換金の申込みの受け付けを取消しする可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性などがあります。
- ファンドのお取引に関しては、クーリング・オフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なしに変更されることがあります。
- MSCI各種指数は、MSCI Inc. が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- S&P各種指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスに帰属します。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは同社が公表する各指数またはそれに含まれるデータの正確性あるいは完全性を保証するものではなく、また同社が公表する各指数またはそれに含まれるデータを利用した結果生じた事項に関して保証等の責任を負うものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

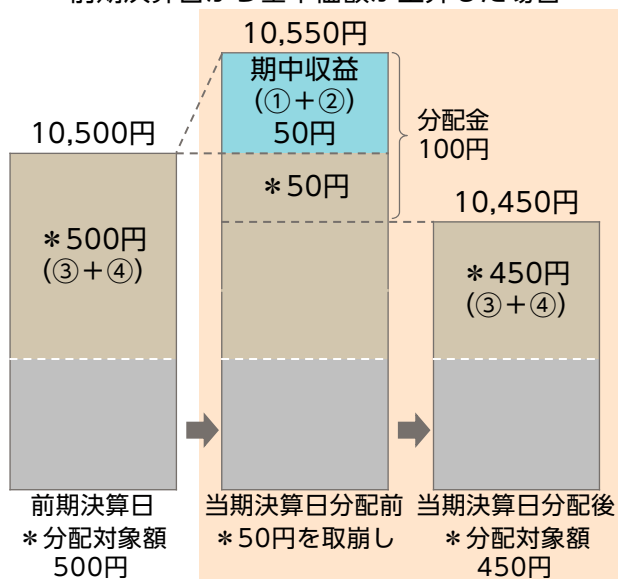
ファンドで分配金が支払われるイメージ



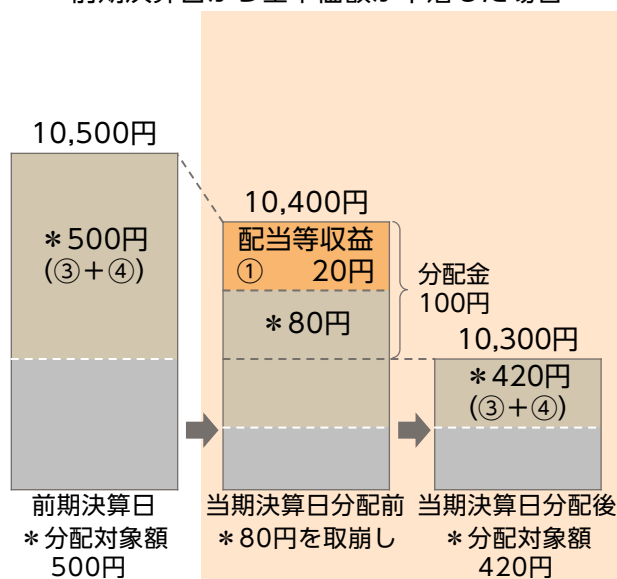
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



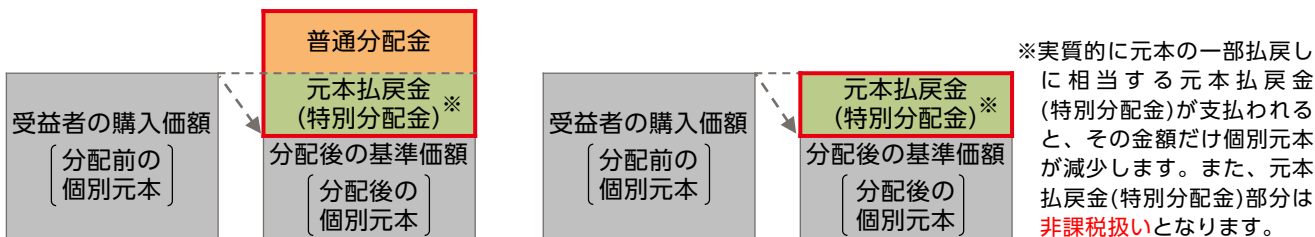
- 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
分配準備積立金：期中収益(①および②)のうち、当期の分配金として支払われず信託財産に留保された金額をいい、次期以降の分配金の支払いにあてることができること。
 - 収益調整金：追加型株式投資信託において追加設定が行われることによって、既存の受益者の分配対象額が減らないようにするために設けられた勘定です。

❗ 上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

- 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.3%(税抜3.0%) を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ●料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金時	信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	投資対象とする 外国投資信託証券	<p>ファンドの純資産総額に年率1.1825%(税抜1.075%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。</p> <p>基本報酬 外国投資信託証券の純資産総額に年率0.715%程度をかけた額となります。</p> <p>成功報酬 運用実績が良好であった場合にかかります。 ●年間最低基本報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の基本報酬の料率を上回ることがあります。成功報酬の詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。なお、これらの報酬は同証券からご負担いただきます。</p>
		実質的な負担	<p>ファンドの純資産総額に年率1.8975%(税込)程度をかけた額に成功報酬を加えた額となります。</p> <p>●上記料率は目安であり、各指定投資信託証券への投資比率が変動することにより、投資者が負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は変動します。また、外国投資信託証券に年間最低基本報酬額等がかかる場合、その純資産総額等によっては年率換算で上記の料率を上回ることがあります。成功報酬は、ファンドが投資対象とする外国投資信託証券において、その運用実績が良好であった場合にかかる費用です。</p>
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.011%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。	
随時	その他の費用・手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。	

- ❗ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。
❗ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

取扱販売会社一覧

販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

取扱販売会社名	金融商品 取引業者	登録金融 機関	登録番号	日本証券業 協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
十六T T証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第188号	○			
東海東京証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第140号	○		○	○

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ファンドに関するお問合せ先
ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者登録番号 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く) ホームページ： https://www.nam.co.jp/
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	
三菱UFJ信託銀行株式会社	